

職場体験資料

職場体験学習は、社会人の方々とコミュニケーションのしかたを学ぶ貴重な機会です。ここで紹介する例を参考に自分で工夫してみましょう。

電話

●最初に体験先（希望先）に電話するとき
「〇〇立〇〇中学校〇年の〇〇と申します。このたび職場体験学習の受け入れをお願いしたいと思っております。お電話しました。担当の方はいらっしゃいますか」

●担当の方が出たら
「〇〇立〇〇中学校〇年の〇〇と申します。おいそがしいところ、おそれります。このたび職場体験学習の受け入れをお願いしたいと思っております。いま、簡単にご説明してよろしいでしょうか」
(相手にいま時間があることを確認してから、目的や日時希望など必要なことをわかりやすく伝える。まとめた書類があれば、それを送ることを伝える)

●すぐに返事をもらえない場合は
「では、こちらからまた、お電話します。いつごろお電話すればよろしいでしょうか」
(担当の方の部署と名前を聞いて、メモしておく。相手が「自分から電話する」と言うこともある)

●すぐに返事をもらえない場合は
「では、こちらからまた、お電話します。いつごろお電話すればよろしいでしょうか」
(担当の方の部署と名前を聞いて、メモしておく。相手が「自分から電話する」と言うこともある)

「ありがとうございました。失礼します」
(どんな内容でも、必ずお礼を言って電話を切る)

手紙

●書き出しの言葉
「前略 先日は職場体験学習のために貴重なお時間をさいていただきまして、ありがとうございました」

●手紙で伝える内容
※伝える内容にきまりはありません。いそがしい時間をさいてくださった方々に自分は何を伝えればよいか、自分で考えて書いてみましょう。
(例)
・どんなことが勉強になったか。
(仕事の内容や進め方、自分の性格や行動など)
・いちばん印象に残ったことは何か。
・体験先で受けた親切や気づかいへの感謝の気持ち。

●手紙のしめくくり方
「私は〇〇で学んだことを、これからの〇〇や〇〇に(どんなふう)に生かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました」

あいさつ

●体験先に着いたら
「おはようございます。〇〇立〇〇中学校〇年の〇〇です。職場体験学習にまいりました。〇〇さんはいらっしゃいますか」

●案内され、担当の方に会ったら
「こんにちは。〇〇中学校の〇〇です。おいそがしいところ、お世話になります。よろしく申し上げます」
(何人か一緒に体験する場合は全員が自己紹介する)

●1日の体験が終わったら
「今日はありがとうございました。今日学んだことを生かして、明日もがんばりますので、よろしく申し上げます」
(できれば、今日の感想などを付け加えましょう)

●体験学習がすべて終わったら
「おいそがしいところ、いろいろと教えていただき、ありがとうございました。ここで学んだことを、明日(来週)からの学習や生活に生かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。さようなら」
(できれば、感想などを簡単に伝えましょう)

言葉づかい

●体験先の方と話すときは
※わからないことや困ったことがあるときは、早めに質問したり相談したりすることが大切です。
「〇〇さん、〇〇について教えていただけますか」
「〇〇のしかたがわからないので、教えてください」
「さきほど説明していただいたのですが、〇〇を忘れてしまいました。すみませんが、もう一度教えていただけますか」
「いまおっしゃった〇〇は、どういうことですか」
「わかりました。ありがとうございました」
「すみません。〇〇してしまいました。どうすればよいでしょうか」

●お客さんと話すときは
※体験先の方の指示にしたがひましょう。
「こんにちは」
「いらっしゃいませ」
「ありがとうございます」
「もうしわけありません」
「私はここで職場体験をさせていただいている者ですので、よくわかりません。いま店の方を呼んでみますので、しばらくお待ちください」

職場体験学習報告レポート

組 番 氏 名

訪問先 日本モンキーセンター

〒 494-0081
住所 [大津市大宮林26]
電話 []
責任者名 []

◇職場での1日の活動内容
8 9 10 11 12 1 2 3 4

朝礼準備 清掃 昼食 領収書 掃除

◇職場の方に聞いたアドバイス
・丁寧に掃除機で掃除
・ホースをうまく使って掃除
・

後援へ！
中半端は許さない
で、気を抜かずしかり
最後までやりきるよ！！
(作業中に現場で体験する後援者のアドバイス)

調査事項

(1) 主な仕事内容の紹介
清掃、えさやり、
飼料の計量、お掃除

(2) 仕事をやる上で
◇ やってよかったこと
小屋を掃除し、きれいな匂いになる
と気持ちがいい!!
◆ 大変なこと
水を使うことが多く、寒い夏、
冷たさがきびしい!!

使うことを教わりました。食べかすや、フンが床にこぼりついていて、こすってもこすってもなかなか取れなくて大変でした。担当の人が手を見せてくれてとても手際が良かったけど、僕がやると、時間がかかるし、ホースの水がかかたりして、苦労しました。でも、サルのたちが快適に健康に過ごすためには欠かせない仕事から、とてもやりがいがあるし、しかも小屋がきれいになると、気持ち良かったです。自分の仕事をこなし、後の達成感はとても良くて、これが仕事をやる上での喜びの一つな気がします。風には、明日分の飼料を、場所ごとに分けたく仕事をしました。僕はりんごを担当しました。他にも、みかんや、バナナなどがあり、僕は皆で分担してやっているので、普段はもっと少ない人数でこの仕事を毎日しているのととても大変な気がします。お客さんの目には映らないけれど、裏でこんな努力している人がいることを知りました。次にえさ調という作業をしました。お客さんが買ってきたお菓子を、紙コップに8割を測る仕事です。お客さんに買ってきてお菓子の量から、数を間違えたりすることは許されないと指導してもらい、

職場体験日記

1日目、まずは朝礼が始まりました。何を話しているのかよく分からなかったけど、これから仕事が始まるといふ緊張感がありました。その後、2人組になり、それぞれ担当の場所に移動です。僕は1日目、アジア館の担当になりました。アジア館に着くと、まず、長靴をはいて帽子をかぶり、マスクをつけました。衛生にも気をうがっていました。最初の仕事は、机の上を寝室から、外のおりに出すことです。担当の人がドアをたたいて外に出させて、全部が出たら僕が棒を出し、棒で机の上のものを外に出すのですが、棒がなかなか動かなくて、折れてしまいました。少し迷惑をかけたと思います。次に、おの上からえさを投げ入れる仕事をしました。全部のおりては、1箱のキャベツを分けたいのだけれど、不配分が少なくて最後のおりに分けられなくなりました。迷惑をかけたと思います。机の上のものがモトモト動いて、しかり食べたい元気が減ったということも教わりました。それが終わると、いよいよ掃除が始まりました。ホースとデッキブラシで、小屋のすみずみまで丁寧に掃除していき、床を上げるために、ホースを指で折曲げて

社会に出て、高直などをおこなっていく上で大切なことだ、なあと感じました。
2日目は南北館の担当でした。1日目と同様、小屋の清掃が中心の仕事でした。どろんどろんの掃除を終わらせていったのだけれど、途中で「今までと違って、全部やり直して」と言われてしまいました。僕が残っていたフンを見落とし、いたからです。僕がというのは、中半端なことは許されず、常に完璧が求められるということも学びました。
3日目は動物物の担当でした。ハムスターやウサギなどの小動物の小屋の掃除をしたりしました。可愛い小動物達とふれあひながら仕事をし、命の尊厳などを学ぶことができました。休み時間から仕事を始める時、どうやら暑いので注意されていました。まだまだ慣れが足りなかったと、反省しました。
3日間の職場体験で、社会に出て働くということの厳しさなど、本当にたくさんのことを学びました。ここで学んだことを、これからの学校生活、自分の将来に生かしていきたいです。

(各務原市立緑陽中学校より協力していただいた資料)